

令和元年度災害復旧支援エンジニア活動報告（白鷹町）

- 令和元年10月12日～13日の台風19号豪雨により県内、特に置賜地方では多くの場所で被災しました。

10月28日に白鷹町より、建設技術センターに災害対応について技術支援の要請があり、センターは、平成25年度に県と協定した「技術職員OBによる災害支援に関する協定」を発動し3名の災害復旧支援エンジニアを迅速に派遣し、災害支援を実施しました。

【白鷹町】

○派遣要請・・・10月28日（月）に白鷹町より災害復旧に関する技術支援の要請

○派遣実施・・・10月31日（木）に災害復旧支援エンジニアを派遣し支援活動

◆被災状況（町道荒砥細野線）

- ・横断暗渠管の閉塞及び接続部のずれが発生
- ・舗装版の浮き上がりが発生

◆活動状況①（災害復旧支援エンジニアへの派遣依頼）

28日 ・「災害復旧支援エンジニア登録者名簿」より地域性の考慮、当日の活動可能なエンジニアとして、工藤雄一氏、星秀幸氏及び古山毅彦氏へ派遣を依頼

◆活動状況②（現地で被災状況について確認のうえ助言・指導）

31日 ・現地にて被災状況を視察し被災状況の考え方・被災状況の撮影個所や復旧方法の進め方等を助言

☆ 町道荒砥細野線

- ・被災原因メカニズムの把握に関する留意点を助言
- ・応急工事の実施に関する留意点を助言

◆活動状況③（現地でこれからの災害申請の流れについての助言・指導）

31日 ・災害申請の進め方に関して県と協議・指導を受けることを助言

◆活動状況④（その他災害復旧全般についての助言・指導）

31日 ・被災時の雨量・道路施設等管理台帳等に関して整備することを助言
・災害査定の採択に関する留意点を助言

